

令和6年9月2日

岡山県産業労働部  
産業振興課地域産業班  
担当：森下・竹内  
(内線 5183・5187)  
電話：086-226-7352

# お知らせ

## 「株式会社SUBARUへの技術提案会」を開催します！

県では、県外部品メーカー等との新規取引を目的として、県内自動車関連企業が自社PRや保有する技術・新工法などを提案する「技術提案の場」を設けています。

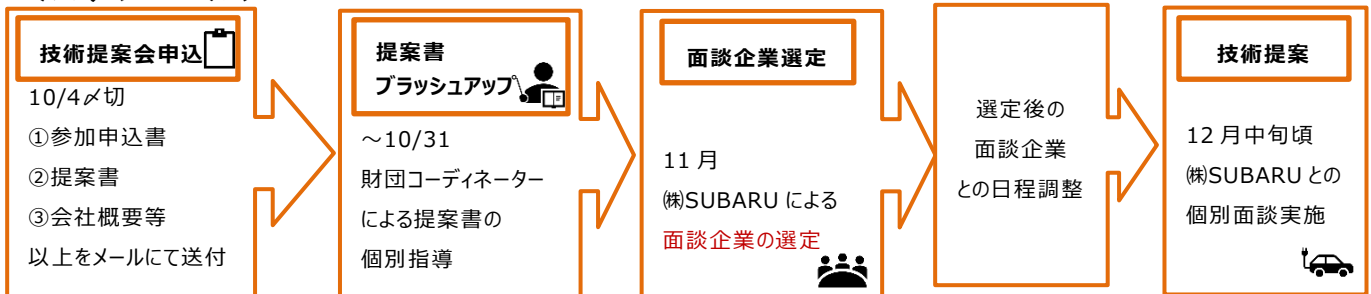
このたび、株式会社SUBARUへの技術提案会を開催いたしますので、お知らせします。

なお、本件については、県政記者クラブ及び経済金融記者クラブへ同時にお知らせしています。

### 記

- 日 時 令和6年12月中旬頃  
(株)SUBARUによる選定後に、面談企業と個社調整予定
- 面談方法 オンラインによる個別面談方式（各社30分）
- 対象者 (株)SUBARU または(株)SUBARU の Tier1 等関連企業に向けて、技術提案をしたい県内自動車関連企業等
- 参加費 無料
- 申込方法 ①申込書、②提案書、③会社概要等を問合先にメールにて申し込みください。  
※(株)SUBARUによる面談企業の選定がございますので、ご承知おきください。
- 主催 岡山県、公益財団法人岡山県産業振興財団
- 申込締切 令和6年10月4日（金）17：00
- 問合先 (公財)岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課  
担当：勝野、小西  
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 MAIL jidousya@optic.or.jp

### <スケジュール>



# 株式会社 SUBARU への技術提案会

岡山県及び（公財）岡山県産業振興財団では、県外自動車メーカー等との新規取引を目的として、県内自動車関連企業が自社 PR や保有する技術・新工法などを提案する「技術提案の場」を設けています。

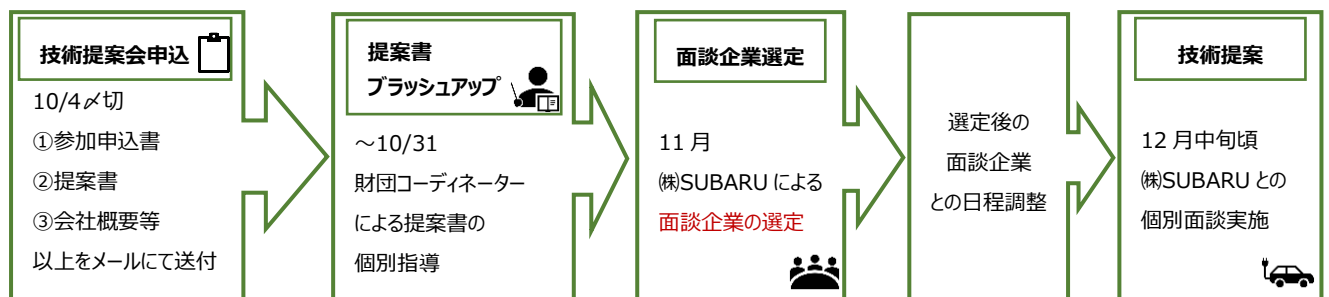
このたび、(株)SUBARU への技術提案会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。



## 記

- 1 日 時 令和6年12月中旬頃  
※(株)SUBARU による選定後に、面談企業と個社調整予定
- 2 面談方法 オンラインによる個別面談方式（各社30分）
- 3 対象者 (株)SUBARU または(株)SUBARU の Tier1 等関連企業に向けて、技術提案をしたい県内自動車関連企業等
- 4 ニーズ
  - ・電動化に繋がる技術
  - ・コネクテッド・ソフトウェアによる新しい価値・活用
  - ・先進安全・衝突安全に繋がる技術
  - ・内外装の質感向上に繋がる技術
  - ・軽量化に繋がる技術
  - ・生産効率化・工程削減・部品機能統合に繋がる技術
  - ・他社にまねのできない独自技術、将来のクルマに搭載されるべきと考える新技術
- 5 参加費 無料
- 6 申込方法 ①申込書、②提案書、③会社概要等を問合わせ先にメールにて申し込みください。  
※(株)SUBARU による面談企業の選定がございますので、ご承知おきください。
- 7 主催 岡山県、公益財団法人岡山県産業振興財団
- 8 申込締切 令和6年10月4日（金）17:00
- 9 問合せ先 （公財）岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課 担当：勝野、小西  
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 E-mail : jidousya@optic.or.jp

## <スケジュール>



## 参加申込書

企業名		
申込担当者	(役職)	(氏名)
連絡先	(TEL)	(E-mail)

No	区分	<input type="checkbox"/> 部品 <input type="checkbox"/> 素材/材料 <input type="checkbox"/> 設備/装置 <input type="checkbox"/> 金型/治工具 <input type="checkbox"/> システム/ソフトウェア <input type="checkbox"/> その他( )		
	提案名	工法	新規性	
会社名	所在地			
連絡先	URL :			
部署名 :	Tel No. :			
担当名 :	E-mail :			
主要取引先	海外対応	<input type="checkbox"/> 可         ( 生産拠点国を記入 ) <input type="checkbox"/> 否		
提案先	<input type="checkbox"/> (株)SUBARUのみ <input type="checkbox"/> (株)SUBARU及びTier1 含む関連企業			

<< 提案内容 >>

<b>提案の狙い</b> <input type="checkbox"/> 原価低減 <input type="checkbox"/> 品質/性能向上 <input type="checkbox"/> 質量低減 <input type="checkbox"/> 安全/環境対策 <input type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>適用可能な製品/分野</b>  										
<b>従来</b>	<b>新技術・新工法</b>										
<b>セールスポイント(製造可能な精度/材質等)</b>  	<b>問題点(課題)と対応方法</b>  										
<b>開発進度</b> ( xxxx 年 月 現在 ) <input type="checkbox"/> アイデア段階 <input type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input type="checkbox"/> 製品化完了	<b>パテント有無</b> 										
<b>従来との比較</b>	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>コスト</th> <th>質量</th> <th>生産/作業性</th> <th>その他( )</th> </tr> <tr> <td>数値割合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	コスト	質量	生産/作業性	その他( )	数値割合				
項目	コスト	質量	生産/作業性	その他( )							
数値割合											

★アピールポイントが提案名ですぐわかるように記入。  
「...の提案」はNG（「提案」の文字は項目ダブリのため不要）

★提案対象は何か、以下該当項目にチェック

★以下参考

No	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 部品 <input type="checkbox"/> 素材/材料 <input type="checkbox"/> 設備/装置 <input type="checkbox"/> 金型/治工具 <input type="checkbox"/> システム/ソフトウェア <input type="checkbox"/> その他( )		
記入不要	提案名	工法	新規性	
	SUS材の深絞り技術による切削加工の廃止	精密深絞り	世界初	
会社名	(株)表示に統一してください		所在地	
	〇〇工業(株)		〇〇県 △△市 ××町 11-2	
連絡先	★営業/技術部署(課長クラス)		URL	
部署名	営業技術部 第1営業技術課		*http://****.com	
担当名	財団 太郎		Tel No. 086-***-****	
主要取引先	注:(株)表記に統一		海外対応	
	<input type="checkbox"/> ***** (株) <input type="checkbox"/> ABC工業 (株)		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <small>生産拠点国を記入</small> 北米、ドイツ 中国、インドネシア <input type="checkbox"/> 否	
提案先	<input type="checkbox"/> (株)SUBARUのみ <input checked="" type="checkbox"/> (株)SUBARU及びTier1含む関連企業			
	提案内容をスバルのみに展開可能な場合はこちらをチェック		提案内容をスバルのTier1などへ展開可能な場合はこちらをチェック	

- ・熱間鍛造
- ・冷間鍛造
- ・鋳造
- ・焼結
- ・ダイヤスト
- ・プレス
- ・樹脂成形
- ・ゴム成型
- ・機械加工
- ・表面処理など

★以下参考

- ・世界初
- ・日本初
- ・自動車業界初
- ・該当部品初適用

提案の狙い	適用可能な製品/分野
<input checked="" type="checkbox"/> 原価低減 <input checked="" type="checkbox"/> 質量低減 <input type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 <input type="checkbox"/> 品質/性能向上 <input type="checkbox"/> 安全/環境対策 <input type="checkbox"/> その他( )	・SUS材を使用した自動車の計器用ケース
従来	新技術・新工法
<p>★従来の問題点/課題を明確にし、新技術・新工法の嬉しさ売りを判りやすく説明してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他社にない優位性が一目でわかるように<b>ポイントのみ箇条書き</b>で記入ください 一般的な会社紹介・製品概要、及び製品メカニズムの説明など、<b>長文による詳細説明は絶対避けてください。</b></li> <li>・図・ポンチ絵・写真等を極力取り入れ、<b>新旧比較による差を明確に記入</b>してください。</li> <li>・本番では製品展示、デモンストレーション、VTR等を活用しより分かりやすい説明を工夫してください。</li> </ul>	

セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法				
板厚(0.5mm~1.5mm)	板厚0.5mmよりは材質変更が必要				
	★極力具体的な項目と数値で記入				
開発進度 (****年 **月 現在)	★提案内容の開発進度を選択				
<input type="checkbox"/> アイデア段階 <input type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input type="checkbox"/> 製品化完了	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(No***) <input type="checkbox"/> 無し				
従来との比較	項目	コスト	質量	(生産)作業性	その他( )
	数値割合	40%低減	20%低減	50%向上	

★提案内容の効果(嬉しさ)を数値割合で示してください

【ガイドライン】

従来と比較して

- |   |   |
|---|---|
| 1) メリットがある場合の表示<br>コスト: x x x %低減<br>質量: x x x %低減<br>生産/作業性: x x x %向上 | 3) メリット無くデメリット発生の場合<br>コスト: x x x %増<br>質量: x x x %増<br>生産/作業性: x x x %低下 |
| 2) 従来と同等(=差なし)の場合の表示<br>コスト: -<br>質量: -<br>生産/作業性: -                    | 4) 生産/作業性<br>どちらかにマル印をつける<br>内容により生産性の数値なのか作業性なのかで意味が違う場合があるため            |